

この夏も、ボランティアに行こう！

～あなたのやさしい気持ちと行動が、もう一度立ち上がる力になります～

復興庁

○ まだまだできることがたくさんあります。

東日本大震災から1年以上経ちました。

炊き出し、泥かきなど、もうボランティアが役に立つことがあまりないのではないかと、思われる方もいらっしゃるかもしれません。

たしかに、一部地域を除いて、このようなニーズは減ってきています。多くの地域では、被災された方々の仮設住宅などへの入居も進みました。

でも、仮設住宅などで、「ボランティアができること」が次々と生まれています。



被災した方の話し相手になる、買い物を代行する、生活全般を見守る、仮設住宅での新しいコミュニティを作る、心のケアをする、など、力仕事
が不得意な方や女性の方、お年を召した方などの手が必要な場面も非常に
増えてきました。

他にもできることはたくさんあります。

仮設の集会所などを活用した「お茶会」など、各地で盛んに行われていますが、参加者が固定されがちになったり、参加しない男性が孤立しがちになったりと、問題もいろいろ出ています。このため、例えば、囲碁や将棋
などの趣味の会や、コミュニティのための大工仕事や花壇づくりなど、
いままで気づきにくかった役割がたくさん生まれてきているのです。

○ まずは、参加してみませんか？

継続的に活動できなくても大丈夫です。一回の参加でも被災された方々への「私たちは被災された方々のことを忘れていません」というメッセージになり、大きな力になります。

被災された方々の「心のケア」は、必ずしも、心理・医療の専門家による特別な取組だけではありません。あなたのやさしい気持ちと行動が、ふたたび立ち上がる力につながっていきます。

自分のペースで参加しましょう。大学等によっては、学生等の皆さんがボランティア活動を行いやすいよう配慮している場合もありますので、大学等に問い合わせてみてください。



○ 参加する方法は大きくわけてふたつあります。

1：パッケージ化されたものを利用する場合

⇒ ボランティアバス（通称：ボラバス）ツアーを利用する

交通手段や宿泊手段がパッケージ化された「ボランティアバス」や「ボランティアツアー」の募集状況については、例えば、下記サイト等の一覧できます（検索もしくはURLを打ち込んでご覧ください）。観光がセットになっているものもあります。

「助けあいジャパン」ボランティアツアー・ボラバス募集状況

http://tasukeaijapan.jp/?page_id=3813

「東日本大震災支援全国ネットワーク」ボランティアバスのページ

http://www.jpn-civil.net/news/volunteer_bus/

2：ご自分で交通手段等を手配して活動する場合

⇒ ① ボランティアセンターに登録し活動を行う

下記サイトにて各市町村のボランティアセンターにおけるボランティアの受け入れ状況が一覧できます。

「全国社会福祉協議会 被災地支援・災害ボランティア情報」

<http://www.saigaivc.com/vc設置状況-pdfファイル/>

⇒ ② NPO 等に登録し、活動を行う

たとえば下記サイトの下から2つめ「ふるさとふれあいプロジェクト」等で、ボランティアの受入状況が一覧できます。遠方からの方など、長期的、継続的に活動するのは困難な方であっても、支援いただけることはたくさんあります。

「助けあいジャパン」ボランティアしたいのページ

<http://tasukeaijapan.jp/?cat=173>

◎ 地元 NPO 等の活動も参照してください。

岩手、宮城、福島では、地元 NPO 等が独自にボランティア募集等も行っています。こういった NPO 等を支援するための中間支援組織「連携復興センター」が三県それぞれにあって、地元 NPO 等のネットワークの中核を担っています。地元での活動状況等を概観できますので、下記サイトをご参照ください。

いわて連携復興センター <http://www.ifc.jp/>

みやぎ連携復興センター <http://www.renpuku.org/>

ふくしま連携復興センター <http://f-renpuku.com/>